

# つづみ 堤の会の紹介

## 1. 堤とは

広島市安佐南区伴東7丁目、松宗地区にあるため池です。火山登山道（図の左側）のふもとにあります。

この地域では、一番大きなため池です。

土手に大きな石碑があるのが特徴です。その横にある説明板には、次のように書かれています。「昭和

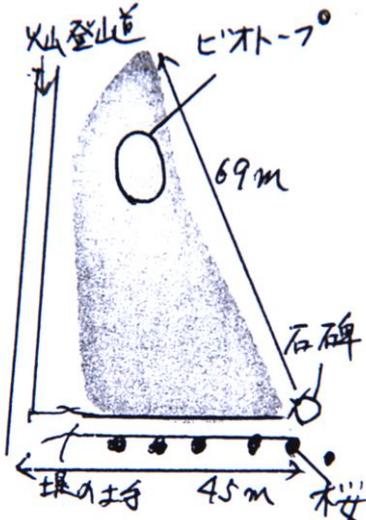
十四年未曾有の大旱にあい 関係土地所有者相談 中台溜池築造を決し 昭和十五年三月起工 翌十六年一月竣工 総工費金七千六百円 内 金 千二百五十円県費補助を受け 以上 後世に伝えるためここに記念碑を建設ス」

面積は、約1700m<sup>2</sup>。深さは、約4m。（図1）

（古い書類では、貯水時の水面の高さ：2.31m、貯水量：623m<sup>3</sup> とあります（図3））

1999年（平成11）6・29の豪雨災害時、近くのため池の関係で1人亡くなったことで、松宗の堤の水を抜いた後放置されて、人が入れない ジャングルの状態となっていました。

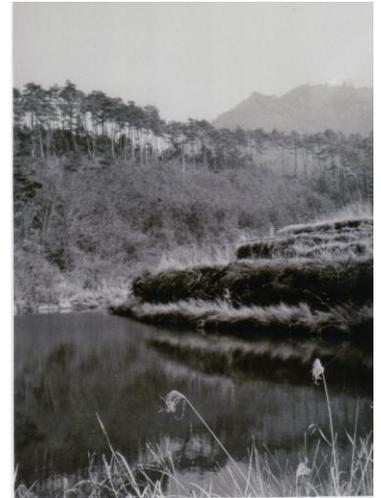
（図1）堤の全体



（図2）石碑を中心に



（図3）昭和37年頃の堤



## 2. 堤の会の設立

2014年（平成26）、次の目標を掲げて「堤の会」を立ち上げました。

- （1）地域の人が自然の恵みと緑に囲まれた中で生活できるような、自然や環境を整備していくことを目指す。
- （2）地域の人との交流をはかり、あたたかい人間関係をつくりだす。
- （3）地域の自然や環境が、子どもたちに恩恵を与えるような取り組みをめざす。

今まで、年2回、地域の人との協力を得て堤の整備を行ってきました。

（図4）

説明板



今までの主な整備状況は、つぎのようになります。

- ・2014年11月、堤の土手に桜の木を植える（6本）。現在10本
- ・2015年5月、石碑の案内板、排水溝を整備。
- ・2016年11月、石碑の説明板を設置（図4）。
- ・2017年4月、一部の桜の木の花が咲く。
- ・2018年4月、桜の木の半数の花が咲く。
- ・2019年3月、堤の桜の花見会、第1回を実施する。
- ・2020年1月、堤の測量を実施



\* 堤の下流の松宗川には、ホタルが生息しています。毎年、5月下旬から6月上旬にかけて子どもたちとホタルを観察し、夏には、ホタルのエサであるカワニナを採集し、松宗川に撒いています。

\* 元旦には、火山に登って初日の出を見えています。(毎年、20人以上の参加があります)

(図5)



(図6) 初日の出



(図7) 土手の桜の花が咲く



(図8) 池づくり



### 3. 今年度の活動

- ・ 2020年4月1日、第2回堤の花見会を実施
  - ・ 6月6日、第13回目の堤の整備を実施
  - ・ 11月8日、第14回目の堤の整備を実施
- 堤の土手や内部の草刈りをするとともに、ビオトープの池を掘りました。今回は、4m×8m、深さ50cm掘ったところで終わり、あとは今後の整備に回しました。

### 4. 今後の活動

今年度中に深さ50cmの池を1か所完成させ、水を溜めてこの地域の生物を生息させたいと思っています。今後の展望として、次のことを考えています。

- ・ 毎年、この池を増やしていき、この地域の生物環境を整える。
- ・ 子どもたちが自由に遊べる砂山等を整備する。
- ・ 家族が自然の中で憩える場所にする。
- ・ 火山登山をする人が、一息入れ、憩える場所にする。

(課題)

今年の大雨により、堤に流れ込む川の上流が崩れ、堤にもかなりの土砂が流れ込みました。その結果、内部を流れる川筋が変わり排水溝が崩れたので、川筋と、排水溝を整備し直すことが必要になっています。